

AKAI[®]
PROFESSIONAL

FORCE

パッドモード

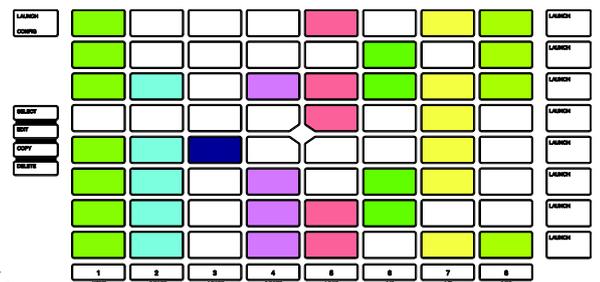
パッドモード

ディスプレイで使用できるさまざまな機能のコントロールの他に、Force には 8×8 グリッドのクリップローンチパッドで使用できる 3 つの異なるコントロールモードがあります。ローンチモード、ノートモード、ステップシーケンサーモードです。また、ローンチとノートモードはローンチ&ノートモードで同時に使うことができます。

これらのモードは Force の Launch/Config、Note/Config、Step Seq/Config ボタンを押して選択します。Launch、Note、Step Seq ボタンを長押しするといつでもパッドモードを一時的に確認できます。この操作で別のクリップのローンチやステップシーケンサーのエディットなどの変更をすばやく行うことができます。

ローンチモード

ローンチモードはクリップのローンチと操作に使用します。右図はローンチモード時のパッドの様子です。明るく点灯しているパッドは、それぞれのトラック列のクリップを表しています。



ローンチモードに入るには、Launch ボタンを押します。ローンチモードでは以下の操作が可能です。

クリップをローンチするには、クリップローンチパッドを押します。

クリップを選択するには Select を押しながらパッドを押します。

新しいクリップを作るには、Select を押しながら空のパッドを 2 回押します。

クリップをコピーするには、Copy を押しながらコピー元のパッドを押します。Copy から指を離さずに、コピー先のパッドを押します。

クリップを削除するには、Delete を押しながら削除したいパッドを押します。

ローンチするクリップのクオンタイズをセットするには、Shift を押しなが Track Select ボタンのどれか 1 つを押します。クオンタイズの値がその下に表示されます。

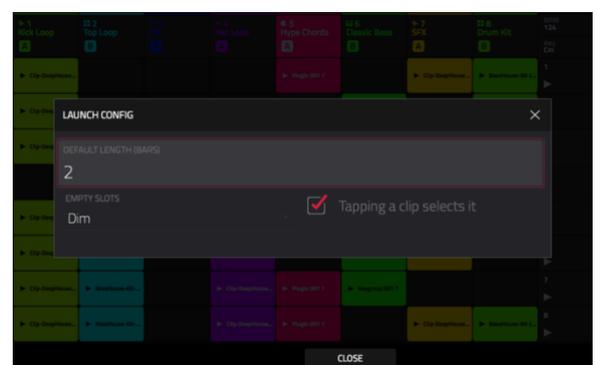
ローンチの設定

Shift キーを押しながら Launch/Config を押して、Launch Configuration ウィンドウを開きます。

Default Length (Bars) フィールドを使い新規クリップのデフォルトの長さを小節単位で設定します。

Empty Slots フィールドでクリップが読み込まれていないクリップローンチパッドの表示の仕方を設定します。

Tapping a clip selects it をチェックすると、タップしたときにそのクリップが選択されます。チェックを外すとクリップをタップしたときローンチのみが行なわれます。



ノートモード

ノートモードはドラムキットやメロディックトラック（キーグループやプラグインなど）を演奏するときに使います。

ノートモードに入るには、ドラム、キーグループ、プラグイン、MIDI または CV トラックを選択しているときに、Note ボタンを押します。クリップローンチパッドの表示は選択しているトラックの種類によって異なります。ドラムトラックが選択されているとき、クリップローンチパッドはドラムノートモードで表示されます。キーグループ、プラグイン、MIDI または CV トラックを選択しているときはメロディックノートモードで表示されます。

ドラムノートモード

ドラムノートモードでは、クリップローンチパッドを四分分割し、それぞれを従来の 4x4 ドラムパッドレイアウトのように使用できます。右図はドラムノートモードの典型的なレイアウトの様子です。

ドラムノートモードでは以下の操作が可能です。

サンプルをプレイするには、いずれかのクリップローンチパッドを押します。

パッドのバンクを変更するには、Shift を押しながら Oct- と Oct+ と記された Track Assign ボタンを押します。

パッドを選択するには、Select を押しながらパッドを押します。

トラックエディットモード内で編集するには、Edit を押しながらパッドを押します。

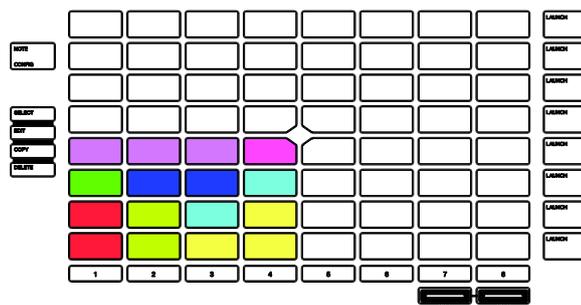
サンプルをコピーするには、Copy を押しながらコピー元のパッドを押します。そのまま Copy から指を離さずに、コピー先のパッドを押します。

パッドを削除するには、Delete を押しながら削除したいパッドを押します。

パッドをミュートするには、Mute を押しながらミュートしたいパッドを押します。

パッドをソロにするには、Solo を押しながらソロにしたいパッドを押します。

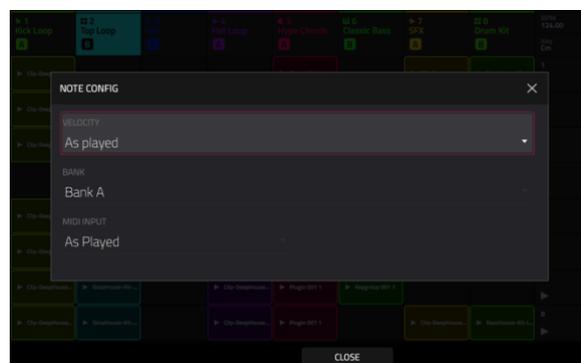
ローンチするクリップのクオンタイズを設定するには、Shift を押しなが Track Select ボタンのどれか 1 つを押します。クオンタイズの値がその下に表示されます。



ドラムノートの設定

Shift キーを押しながら Note/Config を押して、Drum Note Configuration ウィンドウを開きます。ここでドラムパッドの設定を行います。

Velocity フィールドでドラムパッドのベロシティレベルを設定します。As Played を選択する叩いた強さにベロシティは反応します。Half level と Full level でそれぞれ固定ベロシティになります。



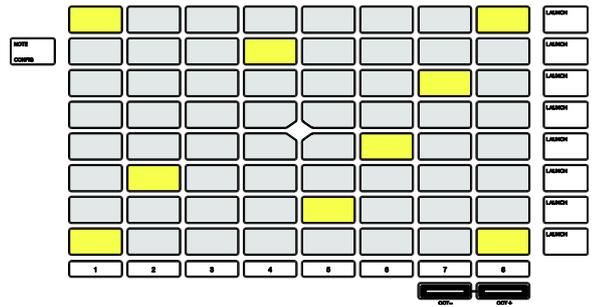
Bank フィールドを使用して現在左下の 1/4 に表示されているドラムバンクを選択します。

メロディックノートモード

メロディックノートモードでは、クリップローンチパッドを従来のキーボードコントローラーのように使用でき、メロディやコードの演奏が可能になります。たとえば、右図はメロディックノートモードである音階を再生するように設定されたクリップローンチパッドです。明るい色のパッドはスケールのルート音です。その間にある白いパッドはスケールの他の音です。

ノートをプレイするには、いずれかのクリップローンチパッドを押します。

最初のおクターブを変更するには、Shift を押しながら Oct-/Oct+ と記された Track Assign ボタンを押します。

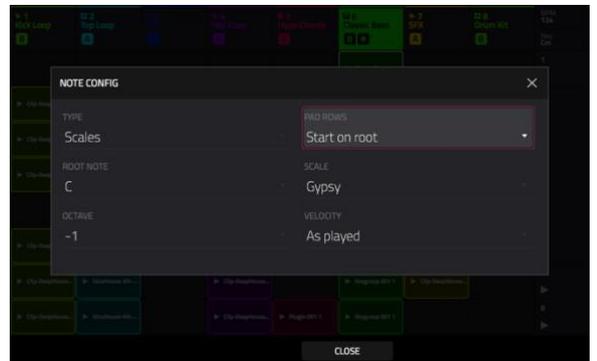


メロディックノートの設定

Shift キーを押しながら Note/Config を押して、Melodic Note Configuration ウィンドウを開きます。ここでクリップローンチパッドにノートやコードがどのように配置されるかを設定します。

Type セレクターでパッド上にマッピングする内容を選びます。

- Chromatic：それぞれのパッドに半音ごとにノートがアサインされます
- Scales：それぞれのパッドにスケール内で使われるノートがアサインされます。
- Harmonize：それぞれのパッドにスケールに応じたルート音に対応したコードがアサインされます。使用可能なコードはすべて Scale で設定されたキーに基づきます。
- Chords：それぞれのパッドにスケールに応じたルート音を基準としたコードがアサインされます。Scale によって設定されたキーとは関係なくどのようなコードもプレイできます。基本的には Harmonize と似ていますが、キーから外れたコードをプレイするためのオプションがより多く提供されます。
- Progressions：それぞれのパッドにコード進行で使用されるコードがアサインされます。パッドを順番に（順不同に）叩くことにより曲をすばやく作り上げることができます。使用できるコードは Progression フィールドで設定します。
- Tonnetz：それぞれのパッドにはノートが割り当てられます。パッドの各行に沿って左から右に向けて完全 5 度（半音 7 つ）ずつ上昇し、パッドの各列に沿って下から上に向かって短 3 度（半音 3 つ）ずつ上昇します。
- Guitar：下のパッドの 6 行はギター弦と同様になっており、ノートはパッドの最初の列で下から上へ E-A-D-G-B-E、横方向に半音ずつ上がっていきます。
- Bass：パッドの下 6 行は 6 弦ベースと同様になっており、ノートはパッドの最初の列で下から上へ B-E-A-D-G-B、横方向に半音ずつ上がっていきます。
- Piano：クリップローンチパッド 2 列でピアノの白鍵と黒鍵のレイアウトになっています。下の行は白鍵、上の行は黒鍵を表します。



注：ギター、ベース、ピアノタイプでは Root Note または Scale を変更してもパッド上のノートの配置には影響しませんが、ハイライトされたルート音と音階のノートは選択に応じて変わります。

注：ノートモードで Note ボタンを押し続けて、ディスプレイ上で Type を選択することもできます。



Pad Rows フィールドを使って Force の 8x8 パッドグリッドにどのようにノートを配置するかを決めることができます。

Continuous	Start on 5th	Start on 3rd
Start on root	Start on 4th	Start on 2nd

Base Note と Octave フィールドでスケールのスタートポイントを設定します(ピッチと音域)。使用できるノートはパッド全域にわたるクロマチックノートです。ルートノートが割り当てられているパッドは、スケールがオクターブ内のどこからスタートするか表示するため、違う色で点灯します。

Scale フィールドで設定します。ルート音に対するスケールあるいはモードを(Type が Progressions のときにはこの機能は無効になります)。使用可能なスケール：

Major	Blues	Major Bebop	Lydian
Natural Minor	Flamenco	Whole Tone	Mixolydian
Harmonic Minor	Gypsy	Chromatic	Aeolian
Pentatonic Major	Hungarian Gypsy	Dorian	Locrian
Pentatonic Minor	Persian	Phrygian	

Velocity フィールドでプレイ時のパッドのベロシティ感度を設定します：

As played	26%	53%	80%
6%	33%	60%	86%
13%	40%	66%	93%
20%	Half	73%	Full

Scale Chord と Chromatic Chord フィールドでパッドを叩いたときに鳴らすコードのタイプを決定します。コードはパッドのルート音を基準としたスケールノートから構成されます。これは Type が Harmonize または Chords のときに使用できます。

Harmonize に設定したとき使用できる Scale Chords

1-3-5 (major/minor)	1-3-5-7 (major7/minor7)
1-4-5 (sus4)	1-3-5-7b (dominant)
1-2-5 (sus2)	

Chords に設定したときに使用できるクロマチックコード：

Major	Major7	Augmented
Minor	Minor7	Diminished
Sus2	Major9	

Sus4

Minor9

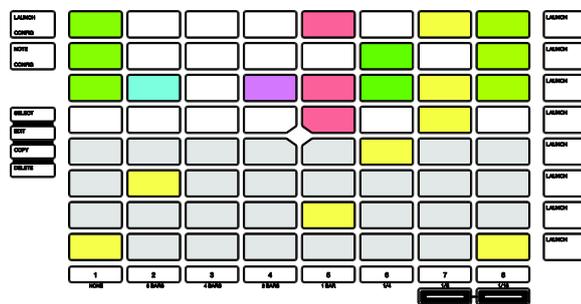
ローンチ&ノートモード

8x8 パッドマトリクスをローンチモードあるいはノートモードでフルに使用すること以外に、クリップローンチパッドの行を半分に分割し、ローンチモードとノートモードを同時に使用することもできます。

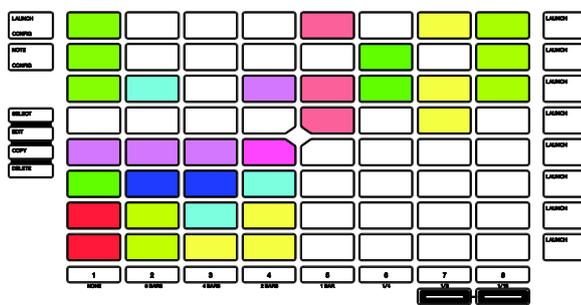
ローンチ&ノートモードに入るには、Launch ボタンと Note ボタンを同時に押します。

パッドの上 4 列をローンチに、下 4 列をメロディックまたはドラムノートのプレイに使用できます(選択したトラックに応じます)。

このモードではローンチモードやノートモードと同じ操作をすることができます。



ローンチ&ノートモード
(メロディックノートモード)



ローンチ&ノートモード
(ドラムノートモード)

ステップシーケンサー

ステップシーケンサー・パッドモードは、パッドを「ステップボタン」としてシーケンスの作成または編集用に使用し、従来のステップシーケンサースタイルのドラムマシンの操作をシミュレートします。このパッドモードはディスプレイに表示されるステップシーケンサーモードと併用されることが多いですが、ディスプレイ上に他のモードを表示しているときにも使用することができます。

ステップシーケンサー・パッドモードに入るには、Step Seq ボタンを押します。このボタンを押すたびにドラムモード、メロディックモード、レーンモードに切り替わります。アピアランスも異なります。詳細は以下をご参照ください。

Step Seq ボタンを長押しすると以下のことが実行できます：

Step Seq Mode ウィンドウを表示させ、ステップシーケンサーモードを素早く選択できます。

上部の行にあるパッドでステップシーケンサーのアクティブになっているページを選択します。使用可能なページ数は選択したステップサイズとクリップ内の小節数によって変わってきます。

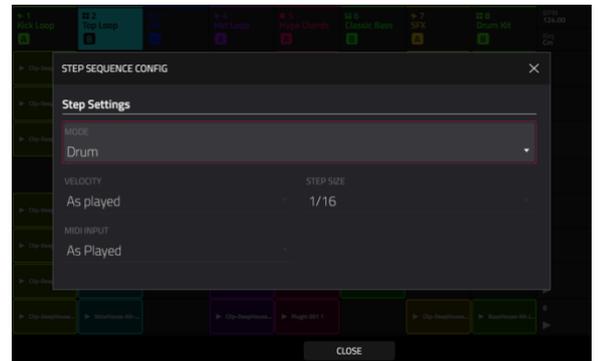
一番下の列のパッドを使用して、Step Size に適用するビートディビジョン(ステップ数)を選択します。一番右のパッドを使用して、3 連符の有効/無効を切り替えます。

Shift を押しながら Step Seq / Config ボタンを押すと、Step Sequence Configuration ウィンドウが開きます。これらの一般的な設定以外にもステップシーケンサーモードにはこのウィンドウから設定できる追加項目があります。

Mode フィールドでステップシーケンサーパッドモードの設定を行ないます：ドラム/メロディック/レーン

Velocity フィールドで新しく入力されるステップのベロシティを設定します。As Played を選択するとベロシティは叩く強さに反応し、プリセットレベルのいずれかを選択するとすべてのステップは選択したベロシティに固定されます。

Step Size フィールドで各ステップのビートディビジョンを設定します。

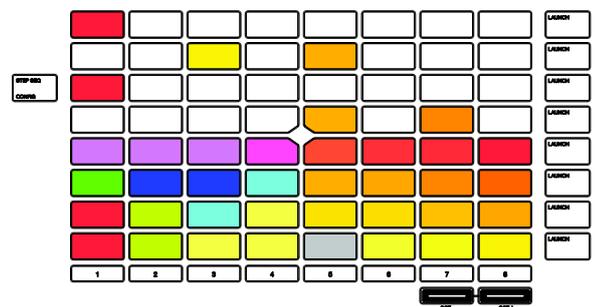


ドラム

ドラムステップシーケンサーモードでは、パッドの左下の 1/4 を従来の 4x4 ドラムパッドのように使用できます。

クリップローンチパッドを押してサンプルを選択します。これによりパッドのサンプルが再生されます。サンプルを鳴らさずにパッドを選択したい場合は Select を押しながらパッドを押します。

Shift キーを押しながら Oct- / Oct + と記された Track Assign ボタンを押してアクティブなパッドバンクを変更します。



パッドの右下 1/4 は新しいステップのベロシティを素早く設定するために使用します。

左下のパッドで As Played(叩く強さによる)か、左から右に行くにしたがって低(6%)から高(フル)までの固定ベロシティを設定できます。

上の 4 列のパッドはシーケンスのステップを表します。利用可能なパッドの数はステップサイズ設定によって変わります。

パッドを押すと選択されたドラムサンプルを鳴らすステップが挿入されます。一番上の 4 行は、選択したドラムサンプルの色で点灯します。

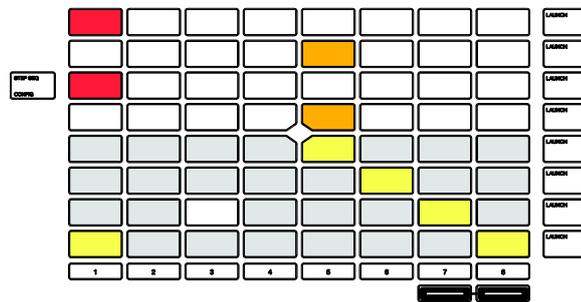
ドラムステップシーケンサーモード内で Shift を押しながら Step Seq を押して設定を行ないます。上記をご参照ください。

メロディック

メロディックステップシーケンサーモードでは、パッドの下 4 行がメロディックノートモード同様に使用され、パッドはスケール内のノートを再生します。

クリップローンチパッドを押してノートを選択します。選択されたノートが白く明るく点灯します。

Shift キーを押しながら Oct- / Oct + と記された Track Assign ボタンを押してオクターブを変更します。



上の 4 列のパッドはシーケンスのステップを表します。利用可能なパッドの数はステップサイズ設定によって変わります。

パッドを押すと選択されたノートを鳴らすステップが挿入されます。

Shift を押しながら Step Seq を押して Configuration ウィンドウを開きます。このフィールドに関しては上記をご参照ください。

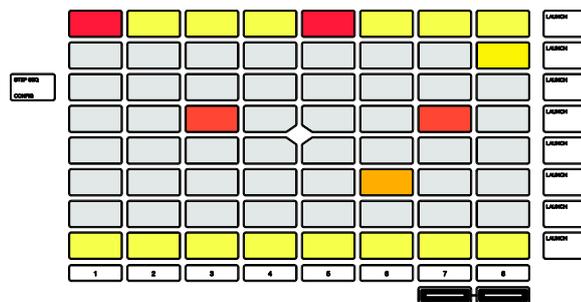
Note Settings フィールドでルート音、スケール、スタート時のオクターブを設定します。

レーン

レーンステップシーケンサーモードでは、パッドの各列はビートディビジョン、パッドの各行はドラムバンク内のドラムサンプル、またはスケール内のノート(トラックのタイプによって変わります)を意味しています。

クリップローンチパッドを押すとドラムサンプルまたはノートがビートディビジョンに応じたステップとして挿入されます。

Shift キーを押しながら Oct- / Oct + と記された Track Assign ボタンを押してオクターブあるいはスタートのパッドを変更します。



Shift を押しながら Step Seq を押して Configuration ウィンドウを開きます。このフィールドに関しては上記をご参照ください。

- ドラムトラックが選択されているとき：

Base Pad フィールドを使用して、8 行のクリップローンチパッドのスタートパッドを設定します。

- キーグループ、プラグイン、MIDI および CV トラックが選択されているとき：

Base Note フィールドを使用して、8 行のクリップローンチパッドのスタートノートを設定します。

Note Settings フィールドでルート音とスケールの設定を行ないます。

